

東区の姫街道

姫街道には当時のなごりある道標などが残っています。この貴重な史跡を見つけてあげてほしいかたがだいしょうか。

姫街道をゆく

浜松市東区は、平成19年(2007年)4月浜松市の政令指定都市移行に伴い誕生しました。東区は浜松市の東の玄関口にあり、古来より東海道、秋葉街道、そして姫街道などの主要な街道が通り、交通の要所となっていました。ここ姫街道は、浜名湖の北岸を迂回する東海道の脇道です。「姫街道」という呼び名は俗称であり、江戸時代までは公的には「本坂通」と呼ばれていました。東区内を横断する「姫街道」は、安間の起点から最古の道標へと至る約6kmの区間です。宿場としては、市野宿に本陣(齊藤本陣)が置かれていましたが、現存しません。宿場としての機能は失われましたが、街道にはわずかに当時の面影が残っています。

【街道文化の継承と創造】

姫街道は、古代は官道として、戦国時代は軍事用として、近世は東海道の脇道として人々の往来が活発でした。東区では、姫街道の歴史を探るとともに、現在に残る歴史的文化財を後世に継承し、新しい街道文化の創造を目指しています。

姫街道は、浜名湖の北岸を迂回する東海道の脇道でした。江戸時代には東海道と安間新田村で分岐して市野宿を経て三方原通分(追分三辻)へ至り気質宿に通じる道筋と、浜松宿から三方原通分へ至り安間起点の道と合流して気質宿へ向かう道筋がありました。これ以外に見付宿から池田の渡しを経て市野宿へ通じる道筋(池田近道)もあり、この道筋は中世以前の主要ルートであったと思われます。

●見付宿から脚油宿までの距離は十五里十四町(約60km)



半僧坊里程石

明治14年(1881年)奥山方広寺の大火時、半僧坊本殿が焼失を免れたことから広く信仰を集め、以降、参詣者のために各地に設置されました。



有玉神社と流鏝馬

主祭神のご神徳は、全国の氏神様の総親神です。家康が秘蔵の馬を奉納したと伝えられ、以来流鏝馬を行事として400年の伝統を今に伝えていきます。

大養禪院

(秋葉常夜燈) 火伏せの神に対する信仰の象徴的な存在の秋葉常夜燈。現在のものは昭和になって復元されたものです。



小池一里塚

江戸から65番目に位置する一里塚ですが、現存はしません。今でもこの辺りは「里山」と呼ばれています。



長福寺(北堂和尚墓)

長福寺(正式には黄檗宗曾我山長福寺)二代目の北堂和尚の墓。木綿の栽培を普及させた人物であります。



熊野神社

熊野神社の境内には、マツ・クス・タブ・シイなどの常緑樹木が林を成しており、昭和54年(1979年)10月に、浜松市保存樹林に指定されました。また、熊野神社には多くの史跡があり、廃寺となった正福寺に建立された宝篋印塔のほか、道路拡張のために姫街道から移された馬頭観音・子安地藏などがあります。

宝篋印塔

延享3年(1746年)に造立されました。高さ3.5メートル以上あり、遠州地方最大の宝篋印塔です。この中には「宝篋印陀羅尼経」が納められています。笠下の最も重要な箇所である塔身の作り方には関西形式と関東形式に区別されていますが、この宝篋印塔は関東形式といわれます。



浜松市東区の位置



静岡県浜松市東区役所 区振興課
〒435-8686
浜松市東区流通元町20番3号 東区役所3階
TEL053-424-0115
e-shinko@city.hamamatsu.shizuoka.jp
平成25年3月発行

最古の道標 13

浜松市域の姫街道沿いに残る最も古い道標。「石きがかなさし左庄内道」とあり、裏面に天保3年(1832年)と刻まれています。かつてはここが、姫街道と庄内道の分岐点でした。

馬込川みずすべの公園

きれいな水と緑が多い公園です。園内にはちょっとした滝と水遊び場があります。水鳥・昆虫・魚の観察ができます。

有玉緑地

湧水の源泉があるこの公園の池の周囲にはめずらしい植物が見られます。また芝生広場や球場もあります。

- 🏯 神社
- 🗿 寺
- 🏛️ 史跡
- 🪦 碑
- 🏠 総合案内板
- 🏠 資源解説板
- 🛏 休み処
- 🌳 公園
- 🚗 駐車場
- 🚻 トイレ
- 🛂 交番
- 📮 郵便局
- 🏪 コンビニ
- 📋 道標
- 🔴 半僧坊里程石

お休み処

でちょっとひと休み

熊野神社などにはトイレやベンチがあるから、休憩するにはちょうどいいよ。おゴミは持ち帰ってね!

馬込川沿いには春になると桜の花がみれます。「みずすべの公園」では釣りバードウォッチングが楽しめますよ。

帰りは遠州鉄道のバスまたは電車にてJR浜松駅へ行けます
マイカーなら「有玉緑地」か「みずすべの公園」の駐車場へ(ただし台数に限りあり)

最古の道標 ← 熊野神社

